

授業科目

医学基礎

担当教員名 遠藤 和男、盛田 路子	対象学年	1	対象学科	健栄
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○	○	

授業の概要

医学基礎は疾病の原因とその成り立ち（病態発生）についての学問で、医学・医療分野の基礎的科目の1つである。管理栄養士国家試験範囲の大分類では『人体の構造と機能および疾病の成り立ち』に含まれる。種々の疾病の原因を明らかにし、その原因が生体にどのように作用し生体がどのように反応し、その結果どうなるかを知ることが、疾病の診断・治療・予後の理解に役立つ。解剖生理学や生化学の知識をもとに、授業では医学の基礎的事項や用語を理解する。また、臨床医学I、IIへの導入として、臨床医学科目と関連する分野も学習する。

授業の目的

疾病の原因とその成り立ちに関する医学の基礎的事項や用語を学習する。

学習目標

- 1) 腫瘍の定義、分類、発生機序、生物学的特性を理解し、良性腫瘍と悪性腫瘍の差異、転移などの臨床的事項も学ぶ。
- 2) 免疫系の全体像、主な免疫担当細胞の名前と働きを説明できる。アレルギー疾患や自己免疫疾患の例をあげ発生機序を説明できる。
- 3) 感染症の成立要因と防御機構、病原微生物の種類、代表的疾患について学ぶ。
- 4) 循環障害に関連した用語を理解する。とくに梗塞、血栓症、塞栓症について具体例をあげて説明できる。
- 5) 内分泌系、生体の恒常性維持機構とその異常をきたす疾患について学ぶ。
- 6) 創傷治癒、炎症、退行性病変（変性、萎縮、壊死）、進行性病変（再生、化生、肥大、過形成）などの病理学用語を理解する。
- 7) 血液・造血・リンパ系の構造と機能を学び、その異常をきたす疾患について学ぶ。
- 8) 加齢に伴う変化、個体の死について学ぶ。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	医学基礎の総論的事項	講義	遠藤 和男
2	腫瘍（1） 腫瘍の診断：病理診断、画像診断など	講義	盛田 路子
3	腫瘍（2） 腫瘍の発生と進展、腫瘍の分類（例：胃癌）、加齢に伴う変化、個体の死	講義、レポート出題	盛田 路子
4	免疫（1） 免疫系の全体像	講義	盛田 路子
5	免疫（2） 免疫系の異常を示す疾患：自己免疫や免疫不全	講義	盛田 路子
6	免疫（3） アレルギー疾患について 免疫系のまとめ	講義、レポート提出	盛田 路子
7	感染症（1） 感染防御機構と病原体	講義	盛田 路子
8	感染症（2） 主要な感染症（肝炎、結核、STDその他）	講義、小テスト	盛田 路子
9	循環障害 充血、うっ血、血栓、塞栓、梗塞、出血、ショックなど	講義	盛田 路子
10	疾患に伴う変化：炎症と創傷治癒 加齢と老化、脳死	講義	盛田 路子
11	内分泌調節系（1） 恒常性維持のしくみとその破綻	講義	盛田 路子
12	内分泌調節系（2） 主要な内分泌疾患	講義	盛田 路子
13	代謝異常 ミネラルの代謝異常、骨粗しょう症とカルシウム代謝	講義	盛田 路子
14	血液（1） 血液・造血・リンパ系の構造と機能	講義	盛田 路子
15	血液（2） 主要な血液の疾患	講義	盛田 路子

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	人体の構造と機能および疾病の成り立ち 疾病の成因・病態・診断・治療 第2版	竹中 優	医歯薬出版	2015年	3,500円+税	
参考書						

評価方法

- (1) 期末試験と小テスト
- (2) レポート課題
- (3) 授業への貢献度

履修上の留意点

2年前期の臨床医学I、3年前期の臨床医学IIを学ぶ上での土台となる内容である。

オフィスアワー・連絡先

授業内容の質問・相談がある学生は、所属学科・学年・学籍番号・氏名・用件を記入の上、office-hour@nuhw.ac.jpへご連絡ください。